



笠間市のセカンドハウスMさん

18



Mさんは長野県長野市出身、東京都在住の50代。職業はIT関連。趣味は菜園、音楽・映画鑑賞など。現在は中小企業診断士の妻・保護猫（ノルウェイジャンフォレストキャット）と東京都内のマンションで暮らし、週末は将来移住を検討している「茨城県笠間市のセカンドハウス」で過ごす。庭の菜園で野菜を育てるほか、二人で晩酌を楽しむ。今後は趣味の音楽・映画鑑賞用のオーディオルームをDIYする予定。猫のためにキャットタワーも製作しようと、妻と話し合っている。



Q. 空き家を購入したいと思ったきっかけは？

東京都の江東区で現在マンション暮らしをしています。週末は区の貸し農園で菜園を楽しんでいましたが、6m×6mぐらいのとても小さなスペースで、「もう少しやってみたいな」という気持ちがありました。東京の人ゴミが苦手だったこともあり、静かな環境で菜園やDIYなど、いろいろなことができたらいいなと思ったのがきっかけです。将来的には移住をすることも考えていました。

Q. どのように空き家を探しましたか？

Webで物件を探しました。条件は東京から100km圏内で、菜園をやりたかったこともありますし、土地が広めのところでした。また、妻は車の運転ができないので、電車で行くことができ、駅から歩ける距離であること、飼い猫を連れていくのに大変じゃないところ、平屋であることなども条件でした。千葉県の東京湾側・神奈川県・埼玉県だと予算がオーバーしてしまうので、千葉県の太平洋側や茨城方面を探し、こちらの物件にたどり着きました。探し始めてから決めるまでに、約2年かかりました。

Q. 「空き家バンク」をご存知でしたか？

空き家バンクのことは知りませんでした。物件を内見した時にはじめて、空き家バンクの対象だということを知りました。最初から笠間市で探すということを決めている方であれば、市役所を訪ね、移住窓口等で「空き家バンク」の存在を知ることができたかもしれません。私たちも物件の条件から探していたので、入り口が違ったのかもしれませんね。その後、空き家バンクの対象物件だと、「リフォームの助成金」が出ると聞いて、市役所を訪ねました。



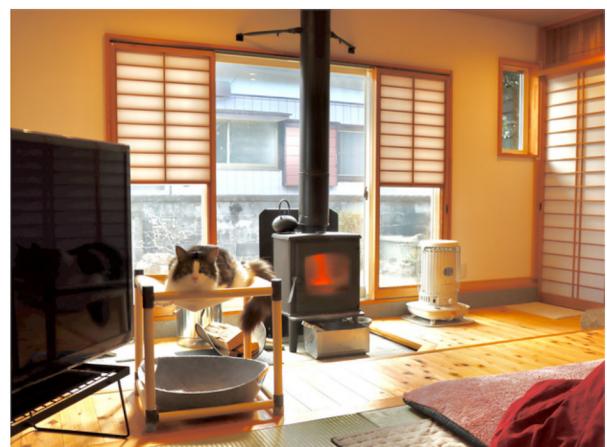
Q. リフォームにあたり、施工者をどのように見つけましたか？

売主の方に家を建てた工務店を教えてもらいましたが、年配の方のようでは今はお仕事をされていないとのこと、近くの工務店さんをwebで探しました。何社か見積もりを取りましたが、金額が倍ぐらい違うなどばらつきがありました。

検討した結果、一番安く見積もっていた工務店さんにずっとお願いをしています。

Q. 全てリフォームされたとのことですが、どのように進めていったのですか？

2016年に住宅を購入し、昨年の春ぐらいまで2回に分け、6年ぐらいかけてリフォームしています。まずははじめに浴室、トイレ、洗面所などの水回りを直しました。それからは週末にこちらに来れるようになりましたね。住宅を購入した当初、DIYをしようと思っていたのですが、素人の手には負えないとおもっていました。そのため、工事はすべて大工さんにお願いしています。



Q. 具体的にはどのようなところを直したのでしょうか。

昭和46年に建てられた平屋の5DKだったので、小さな部屋がたくさんあり、少し暗い造りでした。リビングダイニングができるだけ広く・明るくするために、大工さんに「柱を抜きたい」と相談しました。構造上問題がないか確認してもらった結果、柱を2本抜き、補強のために梁（はり）をいれ、増築もしています。暗かった部屋にも光が差し込むようにし、猫と日向ぼっこができるようになりました。バラバラだった水回りも1カ所にまとめ、スッキリさせています。屋根には太陽光パネルも取り付けました。